



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月13日

上場会社名 スカイマーク株式会社 上場取引所 東
コード番号 9204 URL <https://www.skymark.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）本橋 学
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 財務経理・IR担当 （氏名）田上 馨 TEL 03(5708)8280
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	事業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	54,883	0.7	1,213	△47.8	491	412.2	475	—
2025年3月期中間期	54,488	4.7	2,324	△26.9	95	△98.4	△590	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	7.89	—
2025年3月期中間期	△10.02	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	107,743	27,385	25.4
2025年3月期	103,888	27,119	26.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 27,385百万円 2025年3月期 27,119百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では2026年3月期の期末における配当予想額は未定としております。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	1.9	1,600	△12.4	1,000	31.5	100	△95.3	1.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（2025年11月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	60,329,400株	2025年3月期	60,329,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	148,330株	2025年3月期	106,430株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	60,214,245株	2025年3月期中間期	58,953,444株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年11月13日（木）に機関投資家・アナリスト向けオンライン決算説明会を開催する予定です。
この説明会の内容（動画）及び決算補足説明資料については、速やかに当社IRサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続による個人消費の弱含み、米国の通商政策の影響、地政学リスクの長期化など、先行きは依然として注視が必要な状況にあります。

当社が事業を展開する国内線航空市場においては、円安や海外の物価高騰による国内旅行へのシフトなどを背景に、旅客需要は引き続き堅調に推移いたしました。しかしながら、国内線航空各社は堅調なノンビジネス需要の獲得に向けたプロモーションを強化するなど、価格競争は従来より厳しさを増しております。

このような環境下において、当中間会計期間の有償旅客数は3,955,248名（前年比4.7%減）となりました。事業収益の最大化を目指した戦略的な単価設定により有償旅客数は前年比で減少いたしました。旅客単価が前年同期を上回ったことで、事業収益は中間会計期間における過去最高を記録いたしました。

一方で、営業費用については、円安や世界的なインフレ影響による物価高騰、政府補助縮小等により継続して増加傾向にあります。これらのコスト上昇に対して、オペレーション業務の見直しやコスト管理の徹底等の自助努力による費用抑制に取り組みましたが、コスト増加分の全てを吸収するには至らず、結果として営業利益は前年比で減少いたしました。

また、2026年3月期の事業運営方針に掲げる「収益性の高い事業構造への進化・変革」及び「2027年3月期以降の飛躍的成長に向けた準備」に取り組み、顧客利便性向上を目指した有料座席であるフォワードシートのWEB予約化、各種手数料の改定、若年層向け新運賃導入を実施いたしました。2025年10月には、事業可能性の検討に向けた国際チャーター便として、神戸＝台北（台湾桃園国際空港）線の運航を実現いたしました。

（事業収益及び営業費用の状況）

当中間会計期間においては、上記のとおり旅客単価の上昇により、事業収益は54,883百万円（前年同期比0.7%増）となりました。事業費につきましては、世界的なインフレによる物価上昇により49,951百万円（前年同期比2.5%増）となり、営業利益は1,213百万円（前年同期比47.8%減）となりました。

営業外損益では、主に借入のための融資手数料を709百万円計上し、経常利益は491百万円（前年同期比412.2%増）に、中間純利益475百万円（前年同期は590百万円の中間純損失）にそれぞれなりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の資産合計は107,743百万円となり、前事業年度末に比べ3,854百万円増加しました。これは主に、リース取引により使用していた航空機の買取購入権を行使し資産化したこと及びフルフライトシミュレーター購入による固定資産の増加7,600百万円、現金及び預金の減少1,727百万円、未収入金の減少906百万円によるものです。負債合計は80,358百万円となり、前事業年度末に比べ3,588百万円増加しました。これは主に、契約負債が2,723百万円増加したことによるものです。純資産合計は27,385百万円となり、前事業年度末に比べ265百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が294百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて1,727百万円減少し、24,291百万円（前事業年度末は26,018百万円）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は6,818百万円（前年同期は3,820百万円の獲得）となりました。これは主に契約負債の増加2,723百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は10,040百万円（前年同期は2,723百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出9,895百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は1,569百万円（前年同期は2,134百万円の支出）となりました。これは主に長期借入による収入2,539百万円及び長期借入金の返済による支出750百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想については、2025年5月15日に開示いたしました2026年3月期の業績予想を修正いたしました。詳細については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,018	24,291
営業未収入金	5,467	6,409
貯蔵品	56	35
未収入金	2,448	1,541
前払費用	4,332	3,524
デリバティブ債権	62	168
為替予約	952	697
その他	84	70
流動資産合計	39,424	36,737
固定資産		
有形固定資産		
航空機材(純額)	8,765	9,877
その他(純額)	6,996	14,146
有形固定資産合計	15,762	24,023
無形固定資産	218	303
投資その他の資産		
長期前払費用	533	377
敷金及び保証金	3,961	3,858
長期預け金	24,423	22,692
繰延税金資産	19,478	19,489
デリバティブ債権	8	54
為替予約	78	205
その他	0	0
投資その他の資産合計	48,483	46,678
固定資産合計	64,464	71,005
資産合計	103,888	107,743
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,805	3,891
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	1,750	7,500
未払法人税等	32	16
契約負債	13,862	16,586
定期整備引当金	7,288	5,143
賞与引当金	903	942
デリバティブ債務	133	407
その他	2,122	2,131
流動負債合計	49,897	56,619
固定負債		
長期借入金	7,500	3,591
返還整備引当金	2,461	2,349
定期整備引当金	15,543	16,690
資産除去債務	320	321
デリバティブ債務	259	59
為替予約	52	—
その他	736	726
固定負債合計	26,871	23,738
負債合計	76,769	80,358

（単位：百万円）

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	17,966	17,966
利益剰余金	8,858	9,152
自己株式	△89	△89
株主資本合計	26,835	27,129
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	284	255
評価・換算差額等合計	284	255
純資産合計	27,119	27,385
負債純資産合計	103,888	107,743

（2）中間損益計算書

（単位：百万円）

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
事業収益	54,488	54,883
事業費	48,731	49,951
事業総利益	5,757	4,931
販売費及び一般管理費	3,432	3,718
営業利益	2,324	1,213
営業外収益		
違約金収入	477	444
受取利息	128	212
その他	79	68
営業外収益合計	685	725
営業外費用		
支払利息	255	350
為替差損	2,252	299
支払手数料	213	709
固定資産除却損	137	85
その他	55	2
営業外費用合計	2,914	1,447
経常利益	95	491
税引前中間純利益	95	491
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	670	△0
法人税等合計	686	16
中間純利益又は中間純損失（△）	△590	475

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	95	491
減価償却費	1,435	1,517
株式報酬費用	0	242
定期整備引当金の増減額 (△は減少)	△5,449	△996
返還整備引当金の増減額 (△は減少)	△512	△112
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34	38
受取利息及び受取配当金	△128	△212
支払利息	255	350
営業外支払手数料	213	709
為替差損益 (△は益)	766	200
固定資産除却損	137	85
売上債権の増減額 (△は増加)	△309	△941
貯蔵品の増減額 (△は増加)	41	21
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,465	806
未収入金の増減額 (△は増加)	3,247	892
長期預け金の増減額 (△は増加)	4,310	1,730
仕入債務の増減額 (△は減少)	297	97
契約負債の増減額 (△は減少)	1,146	2,723
未払金の増減額 (△は減少)	△10	203
未収消費税等の増減額 (△は増加)	53	14
その他	33	△175
小計	4,193	7,688
利息及び配当金の受取額	128	212
利息の支払額	△255	△350
営業外支払手数料の支払額	△213	△699
法人税等の支払額	△32	△32
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,820	6,818
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,563	△9,895
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	—	△109
敷金及び保証金の差入による支出	△160	△120
敷金及び保証金の回収による収入	—	83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,723	△10,040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,539
長期借入金の返済による支出	△500	△750
リース債務の返済による支出	△83	△55
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,550	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,134	1,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△545	△75
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,583	△1,727
現金及び現金同等物の期首残高	26,909	26,018
現金及び現金同等物の中間期末残高	25,326	24,291

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社の事業セグメントは、航空事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。